

エンディングノートでつながる家族の絆

Vol.82「自分らしい人生のしめくくりを考える」

3月8日（木）にNPO 法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ エンディングノート企画室 室長 早野矢須男さんにお越しいただきお話をお聞きました。

早野さんは阪神大震災の前年からボランティアとしてお役に立てればと思い、この活動を始められました。当時は生前に自らの死について準備をして、書き記すことがはばかれる反面、自分の人生を遺される人へ書き残しておきたいというニーズも多く出てきました。貴法人では、人生のしめくくりを考える時に、エンディングノートを作成されました。「エンディングノート」とは、自分のありかたについて、自分の考え方を明確にし、遺される人へのメッセージとして書き残すノートです。

現在は、本屋さんに行くとエンディングノートが多く出版されています。このエンディングノートを初めて出版されたのが貴法人でした。当時は、テレビや新聞にも大変注目され、問合せの電話が鳴りやまなかったそうです。

お話の中で、エンディングノートを活用された方からのお礼のお便りがあり、一部をご紹介いただきました。「ご主人の最後の思いを達成することができた。」「帰郷の際に、そっとエンディングノートを置いていこうと思う。」など数々のケースでこのエンディングノートがお役に立っていることがよくわかりました。

昔は大家族の中で誰かがみてくれた時代から、核家族化が進み地域や家族と話すことが少なくなってきた中、エンディングノートのように新しい「家族とのコミュニケーション」が必要であるというお話が印象に残りました。
(つどいスタッフ 新福泰雅)



広がりの交流会 開催報告



シリーズ 地域を知ろう! ④

『南高安ふれあい果樹園』

南高安地区の
地域活動取材!

このシリーズは、地域活動を知ることで地域活動に市民活動団体が参加・協働できるためのヒントを探りシリーズで掲載しています。

3月11日（日）。南高安地区にある「南高安ふれあい果樹園」（神宮寺4丁目）での活動に参加しました。

この活動は農業指導員さんと各種地域団体（南高ひろば、パトロール協議会、育成会、PTA など）で構成される南高安地区世代間交流実行委員会が運営をしています。

南高安地区の幼児～小学生と保護者、中学生、60歳以上の方が対象で、5月～翌年3月までじゃがいも・さつまいもの植付け、雑草抜き、水やり、そして果樹や芋の収穫を行っています。農作業は4班に分かれて、毎週順番で行って来ました。

当日は年4回の4班合同の活動日でしたので、多くの家族連れの方々が参加され大変盛況でした。畑の石を取り除く作業を行った後、じゃがいもの植付けを行い、約1時間程度で植付けが終わりました。

毎週の手入れ以外に、日々、実行委員会の方々が手入れをされています。毎日の水やりや手入れなど縁の下の力持ちの役割に市民・市民活動団体も一緒に協力・協働ができて、お役にたち地域とつながればよいなと感じました。
(つどいスタッフ 新福 泰雅)



▲みなさん楽しく植付けを行いました。